みんなの文芸

短歌

根岸茉莉選

はやぶさに大いなる未知冬銀河

皆野　萩原　初恵

(評)コロナ禍の暗いニュースの中、小惑星探査機「はやぶさ二」が六年に渡る探査を終え「リュウグウ」のサンプルを地球に届けた快挙は、世界中が驚き、賞賛した明るい話でした。更に次の惑星を目指して十一年の宇宙の旅に出たはやぶさ。作者は、夜空を眺め、宇宙の神秘を思い、未知に挑戦してゆくはやぶさにエールを送ったことでしょう。二句目、北国にどか雪を降らせ山を越えて来た乾いた北風。上州（群馬）名物と言われるが秩父までやって来て、体の芯まで凍えそう。ひとなでが面白いですね。三句目、子や孫と楽しく賑やかに過ごしたお正月も終り、帰った後は余計に家の中の静けさが身に沁みます。又会える日を心待ちに一人で食べる桜粥（小豆粥）に身も心も温められます。

からっ風上州ひとなで秩父まで　皆野　戸塚喜久雄
子ら帰り元の静けさ桜粥　三沢　新井　叶子
澄み渡り寒月映える青い夜　皆野　石原　達也
ポケットの指先温し冬花火　皆野中　太幡琉美花
代筆の友の近況初便り　国神　藤原マキ子
ゆく年の月満ち老の目にうるむ　三沢　眞下　杏子
あとはもう夫担当の注連飾り　皆野　豊田喜美恵
猫二匹と密を守りて春炬燵　皆野　根岸　詩子
新年の夜明けの空に月丸し　皆野　村田ハツ代
コロナ禍のしぶとき刃冬銀河　三沢　新井　民子
寒星や緩走鼓動ハーモニー　皆野中　小菅恭青史
自粛して帰り来ぬ子に初電話　下田野　新井　節子
コロナ禍や帰省子もなく去年今年　皆野　引間　千鶴
綾取りの取りつ取られつ日向ぼこ　下日野沢　浅見　豊子
来る春に幸せ願い夜空染め秩父盆地に一斉花火　皆野　村田ハツ代
新しき年の幸い祈念してひとゝせ送るあたたかき蕎麦　皆野　萩原　初恵
山のうえ夜空に母と描く冬の大三角ひかり瞬く　皆野中　太幡琉美花
買い物にメモしたためて急ぎ足マスクの中で口を結びぬ　国神　藤原マキ子
朝が来て「サンタがきたよ」と飛び起きて無邪気にはしゃぐ我が子愛しい　皆野　大澤　貴夫
日に追われ昭和平成令和生き気付けばもはや終着駅に　皆野　根岸　詩子
年の瀬の店はカートの犇めきて雪は無けれど立ち往生す　皆野　打木　昭廣
懐かしく繰り返し読む義妹からの心温もる自筆の賀状　下日野沢　浅見　豊子
せめてもと手作りおせち送りやる会はずに我慢みんなで我慢　皆野　引間　万亀
絶対に捨てはならぬと決めている逸品造る俺のプライド　皆野　石原　達也
一天に雲無き数日深い青コロナ禍どこぞひと時安らぐ　皆野　戸塚喜久雄
小遣ひを一銭・五銭の頃育ち幻の銭となる令和を生きる　三沢　新井　叶子
初の日が昇るを待って居る庭に番の目白飛び来て遊ぶ　下田野　新井　節子
忖度も優しさもなく写し出す我に厳しき今年の鏡　皆野　豊田喜美恵
目に余る野菜の暴落著し彼の手此の手で野菜を食す　三沢　新井　民子
三十三回忌の舅よ七人の子宝四人となり偲び合う　三沢　眞下　杏子

俳句・短歌を募集

作品には、ふりがなをつけ、住所・氏名・電話番号を明記してみらい創造課までお寄せください。

3日必着　**1人1句、1首**に限ります。

今月の題字

皆野小5年　清水　桜彩さん

児童の見守り放送

皆野小1年　児玉　惺奈さん

1歳のお誕生日おめでとう

Happy Birthday

杏耶ちゃん　みずほ区　長谷河　健志さん　佳奈さん

あやちゃんお誕生日おめでとう！
元気にすくすく育ってね😊

柊凪太くん　下原区　大澤　将史さん　純子さん

お兄ちゃんお姉ちゃんと仲良く
元気に大きくなぁれ☆

伊織くん　原区　関根　泉さん　渓美さん

いつも皆んなに笑顔をありがとう。
たくさん食べて遊んで大きくなってね。

※満1歳の赤ちゃんを募集します。3月号の締め切りは、2月10日(水)まで。ホームページからも応募できます。